

「小・中学校における学力向上プロジェクト」をスタートさせます

変化が激しく、予測が困難な時代に生きる子どもたちには、既存の知識を習得するだけでなく、知識や技能を活用しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、持続可能な社会や未来の担い手になってほしいと願っています。その人材育成のための学力向上プロジェクトです。

1 背景（柏崎市の子どもたちの実態）

- ・過去 5 年間の学力テストの結果「基礎・基本」の面は、おおむね良好
- ・令和 3(2021)年度の全国学力・学習状況調査の結果「応用力・活用力」の面で、さらに力を伸ばす必要があることが判明
- ・特別な支援を要する児童生徒数の増加（13 年前に比べて小学校で 2.5 倍、中学校で 2.3 倍）に対応した支援の充実が必要

2 概要

新しい学習指導要領が示した育成を目指す 3 つの「資質・能力」を伸ばすため、行政・学校現場・保護者が連携した確かな学力向上策に新年度を待たずに取り組む。

3 育成を目指す 3 つの「資質・能力」

- ・生きて働く知識・技能を身に付けさせる
- ・未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力などを育成する
- ・学びを人生や社会に生かそうとする、学びに向かう力、人間性などを育成する

4 目標（子どもたちの学力実態）

- ・令和 4(2022)年度からの 3 年間で、全国平均・県平均を 3～5 ポイント上回る
- ・県内トップレベルへ到達させる

5 取り組み内容

- ・11 月 9 日開催「学力向上プロジェクト推進委員会」で今後の具体的方策を決定
→ 学力向上のための授業改善、学習用タブレットの活用、家庭学習の習慣化
- ・子どもたちの学習支援を一層充実させるため、市独自に配置している指導補助員、介助員をさらに増員
- ・教職員および保護者に「学力向上リーフレット」を配付
- ・「総合学力調査」を全小・中学校で 12 月に実施